

～医療べんきょう会～

今月の健康教室は、昨今猛暑の話題が事欠かないことを踏まえて、「熱中症」をテーマにし、40分程度の講話と20分程度のワーク、残り30分で健康相談会を行いました。熱中症の講話では「熱中症の種類」「熱中症を予防するには」「熱中症になった際はどうか」をテーマに話を行いました。特に「スポーツ飲料と経口補水液の違い」に関する話は、初めて知る方が多かったようで、かなり大きな反応を得ました。ワークでは砂糖、塩、水で簡単に作れる経口補水液を参加者全員で作成、体験していただきました。コップ1杯に対し、砂糖を9gも使用することに抵抗を覚える人も多く、飲まない方もいらっしゃいました(糖尿病など基礎疾患をお持ちの方には飲用を控えていただきました)が、市販している経口補水液と大体同じ組成になっているので、いかにそれらの飲み物に砂糖が入っているか、従ってそればかり飲んでると糖尿病などのリスクが上がるか、ということを実感する機会にもなったとの声を頂きました。平原は12人、藤河内は10人の高齢者が参加しました。



熱中症に関する健康講座を開催

～Code Orange～



スライドづくりに関する勉強会

今月は、構成員のインストラクション技術の向上に重点をおいて活動を行いました。まず、定例会では、「スライドづくりのコツ」と題し、6年生からスライドのデザインのコツを教わりました。同じ内容でもデザインによって頭の中に入ってくる情報量が大きく変わること、そしてそれは受講者の理解度にも直結することを学ぶことができました。次回は、「プレゼン発表の仕方のコツ」と題し、定例会を行う予定です。また、8月19日に呉共済病院にて「BLS選手権 中国四国ブロック大会」が行われるにあたり、7月下旬に低学年向けにBLS練習会を行いました。この大会はBLSの手技の正確さを大学対抗で競い合うものです。胸骨圧迫だけでなく、フェイスシールド、ポケットマスク、BVMによる換気の練習を行いました。最初は慣れない手技に戸惑っているようでしたが、練習を重ねるにつれ、高学年のメンバーと同程度に上達することが出来ました。新たな手技を習得することで、救急に関する興味がより深まったのではないかと思います。

来たれ！農場めぐりあい

7月の農作業は、畑の苗に台風対策をする作業から始まりました。台風が直撃する前日、雨風のなかメンバーで苗に支柱を立て、地面に溜まった水を出すための溝を作ったりしました。野菜のために何をするのが最善なのか自分たちで試行錯誤する過程は大変でしたが、その分台風後に生き残った苗たちを見たときの喜びは大きかったです。温室では野菜たちが収穫の時期を迎えました。大量に収穫できたため、おもぷろメンバーだけでなく、例えばメンバーが所属しているサークルの先輩など、たくさんの人に配布することができました。野菜ができるまでの土づくり、種まき、水やりなどの作業はとても大変でしたが、たくさんの人に喜んでもらえ、暑い中育てた甲斐がありました。また温室で収穫したバジルとパセリの乾燥作業も行いました。作業があったのはテスト前の忙しい時期でしたが、たくさん人が集まってくれて大勢で楽しく作業をすることができました。7月は野菜の収穫、配布、加工など農業の色々な楽しい要素を味わうことができたよい月になりました。



野菜育ててます

山大にゃんこ大作戦～略してYND～

始動し始めてから2ヶ月ほど経ち、学内のねこの調査も少しずつ進んでいます。現在、台帳に登録できたねこは30匹ほどです。おそらく全体では50匹ほどは生息しているのではないかと推測するところまで達しました。今月からは会員全員での学内調査も取り入れ、7月17日に30人ほどで朝6時から学内を周り、ねこの調査を行いました。台帳登録に続き8月はマタタビなどを使って、ねこの親密度を上げていきたいと考えています。その他には協力していただけの方に広報に伺いました。防府のカフェ「ウイラニ」へ活動内容および今後の展望についてお話し、なにかあれば協力したいとおっしゃっていただき、さらにこの活動に賛同していただけそうな方を紹介していただくこととなりました。役員ミーティングでは8月の九州大学ネコ部との合同合宿や姫山祭に向けての詳細を話し合いました。合宿では獣医学部上林先生に講義していただくことになりました。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**